

第5節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉・介護高齢・健康増進の3担当で編成されている。

福祉担当の主な事務分掌は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、生活保護に関すること、健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関することなどである。

地域福祉関係では、県の地域福祉活性化事業費補助金を活用し、栃木市社会福祉協議会に事業を委託し、専任のコーディネーターを配置して、独居の高齢者や障がい者等を地域で見守り支えていく仕組みを構築するための取り組みを行った。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康・福祉の充実を図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがいづくりとして、敬老祝賀事業、敬老行事自治会交付金事業、老人クラブ活動等社会活動促進事業、はつらつセンター事業などを実施した。また、高齢者の福祉・生活支援として、配食サービス事業、緊急通報装置設置事業、福祉タクシー料金助成事業、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業、紙おむつ購入助成事業などを実施した。さらに、認知症高齢者等と家族に対する地域における支援体制整備の推進のため、認知症地域支援体制構築等推進事業を実施した。

介護保険事業では、要介護認定要支援申請等の相談・受付、福祉用具購入費支給申請の受付、負担限度額認定証の交付申請の受付・決定等を実施し、介護サービス利用を支援した。

大平地域包括支援センターでは、栃木市社会福祉協議会に業務を委託し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等を行った。

健康増進担当の主な事業は、予防接種事業、健康診査事業、母子保健事業、健康づくり事業、自殺予防事業、健康おおひら21プラン推進事業等である。

予防接種事業では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種及び高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施した。また、健康診査事業では、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子保健事業では、母性及び乳幼児の健康保持増進を図るため、母子手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談等を行った。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業並びに自殺予防事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころ健康教室及びこころの健康相談を実施した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員67人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員3人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費	年金・保険
126	45	21	63	13	42	7
非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数		
280	77	883	1,557	23.2		

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,281	145	885	5,185	5,966	13,462	200.9

(3) ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員・児童委員（主任児童委員）が地域でどのような役割を担い、活動をしているかを、多くの地域住民に知ってもらうためにPR活動を展開した。

- ・開催日 平成22年5月30日（日）
- ・場所 大平健康福祉センター、ふるさとふれあい館

2 施設管理運営状況

(1) 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

ア 利用状況

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	調理実習室・母子指導室	総合計	開館日数（日）
4	13,062	2,662	473	258	463	295	619	605	20	160	18,167	26
5	12,959	2,566	415	176	289	260	331	355	10	161	17,522	26
6	12,159	2,742	446	147	210	434	772	558	50	88	17,606	26
7	10,565	2,716	588	329	175	249	449	337	139	52	15,599	27
8	0	1,952	462	348	478	338	717	462	125	20	4,902	26
9	6,749	2,549	669	297	686	276	497	442	141	25	12,331	26
10	11,225	2,784	491	464	368	327	696	503	112	0	16,970	27
11	10,953	2,538	542	435	650	352	850	528	54	46	16,948	25
12	10,852	2,332	396	226	360	267	539	580	53	15	15,620	24
1	12,183	2,539	389	313	500	357	475	268	25	129	17,178	24

2	12,064	2,516	573	387	683	314	431	423	91	45	17,527	24
3	4,495	1,344	348	147	90	144	359	101	18	86	7,132	25
合計	117,266	29,240	5,792	3,527	4,952	3,613	6,735	5,162	838	827	177,952	306

開館日数 306日 1日平均利用者 581人

区分	年度		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数(人)	192,919	214,717	177,952

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

(ア) 歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

- ・開催回数 18回
- ・観覧者延べ人数 1,640人

(イ) 伝統芸能・舞踊

太鼓演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

- ・開催回数 7回
- ・観覧者延べ人数 465人

(ウ) カラオケ等

生バンドによるカラオケや、審査員によるカラオケ大会

- ・開催回数 7回
- ・観覧者延べ人数 505人

(エ) 芝居

人情芝居を中心とした時代劇

- ・開催回数 3回
- ・観覧者延べ人数 310人

(2) 大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア 利用状況

(単位：人)

区分 月別	研修室	和室	ボランティアルーム	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・応接室	総合計	開館日数(日)
	4	620	346	120	137	9	129	45	1,406
5	823	280	78	125	12	159	457	1,934	26
6	714	352	112	142	4	150	49	1,523	28
7	528	385	91	102	4	109	63	1,282	28
8	750	335	136	161	0	103	18	1,503	29

9	482	324	99	104	21	154	99	1,283	26
10	636	339	104	132	4	154	44	1,413	28
11	441	302	57	94	10	159	57	1,120	26
12	412	304	83	106	5	123	36	1,069	25
1	593	365	139	76	15	143	20	1,351	24
2	493	369	135	95	10	131	66	1,299	25
3	474	352	124	46	0	162	46	1,204	28
合計	6,966	4,053	1,278	1,320	94	1,676	1,000	16,387	320

開館日数 320日 1日平均利用者 51人

区分	年度		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数(人)	16,755	16,889	16,387

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活動の活性化を図りました。また、下記の通り自主事業を実施しました。

(ア) 親子のつどい in ふるさとふれあい館

- ・内 容 輪投げ・お菓子のつかみ取り
- ・参加者 50人
- ・ボランティア 21人

(イ) 歌謡曲発表会

- ・内 容 素謡
- ・参加者 20人

(ウ) お箏の演奏会

- ・内 容 小学生を対象にお箏に触れる体験及び演奏会
- ・参加者 児童生徒 23人
一 般 11人
- ・ボランティア 3人

(エ) お茶会体験

- ・内 容 小学生を対象にお茶の作法を学び、お抹茶の体験
- ・参加者 児童生徒 23人
一 般 11人
- ・ボランティア 4人

(3) 大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

ア 利用状況

(単位：人)

区分 月別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	延べ 利用回数	利用 実人数
4	26	69	112	163	174	37	18	13	612	70
5	23	67	96	156	145	28	21	14	550	70
6	30	61	131	187	204	48	29	22	712	76
7	24	53	96	193	221	49	39	19	694	79
8	25	53	105	191	228	54	36	23	715	78
9	28	45	115	187	206	43	37	19	680	80
10	25	36	114	232	216	68	27	3	721	83
11	23	38	143	241	176	88	23	4	736	83
12	11	49	157	229	168	79	25	4	722	87
1	11	52	151	228	181	79	36	3	741	92
2	12	39	171	231	214	81	42	7	797	93
3	14	48	189	237	264	92	50	2	896	93
合計	252	610	1,580	2,475	2,397	746	383	133	8,576	984

開所日数 294日

年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	9,147人	8,301人	8,576人

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

区 分	事 業
介護予防及び介護関係	筋力アップ訓練事業 口腔衛生事業 認知症予防事業 福祉教育事業

通所施設関係	カラオケ 囲碁・将棋 演芸鑑賞
年間事業	花見及びお茶会 七夕会 敬老の日 豆まき会 利用者の誕生会（随時）等
その他	施設を開放し、見学会を開催 シルバー大学OBによるレクリエーションボランティアの受入れ（月2回、金曜日）

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、実施した。

運営状況

施設名	所在地	開所日数	通所延べ人員
大平地域活動支援センター	栃木市大平町真弓1396	244日	1,721人

4 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）

（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成22年度中交付者数
視覚障がい	34	0
聴覚・平衡障がい	161	12
音声・言語・そしゃく障がい	8	1
肢体不自由障がい	441	35
内部障がい	231	26
複合障がい	34	5
合計	909	79

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）

（単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	12	5	34	34	85
中度（B1）	9	5	30	26	70
軽度（B2）	10	4	15	13	42
合計	31	14	79	73	197

6 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	0	0	0	0	0	0
	義足	1	3	4	0	0	0
装具	下肢	9	3	12	7	0	7
	靴型	3	2	5	0	0	0
	体幹	0	0	0	0	0	0
	上肢	0	0	0	0	0	0
座位保持装置		3	1	4	1	1	2
盲人安全つえ		1	0	1	0	0	0
義眼		0	0	0	0	0	0
眼鏡	矯正眼鏡	0	0	0	0	0	0
	遮光眼鏡	1	0	1	0	0	0
	弱視眼鏡	1	0	1	0	0	0
補聴器	高度難聴用ポケット型	2	0	2	0	0	0
	高度難聴用耳掛け型	2	5	7	0	1	1
	重度難聴用ポケット型	1	0	1	0	0	0
	重度難聴用耳掛け型	3	6	9	0	0	0
車いす	普通型	1	11	12	0	0	0
	その他	1	0	1	0	0	0
電動車いす		0	0	0	0	0	0
起立保持具		0	0	0	0	1	1
座位保持いす		0	0	0	0	0	0
歩行器		0	0	0	0	0	0
歩行補助つえ		0	0	0	1	0	1
重度障がい者用意思伝達装置		0	0	0	0	0	0
特例補装具		0	0	0	0	0	0
合計		29	31	60	9	3	12

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	0	0
特 殊 マ ッ ト	0	0
特 殊 尿 器	0	0
移 動 用 リ フ ト	0	0
訓 練 い す	0	0
入 浴 補 助 用 具	1	0

体位変換器	0	1
便器	0	0
T字状・棒状のつえ	1	0
移動・移乗支援用具	2	0
頭部保護帽	1	0
特殊便器	0	0
火災警報器	0	0
自動消火器	1	0
聴覚障がい者用屋内信号装置	1	0
透析液加温器	1	0
ネブライザー	0	1
電気式たん吸引器	3	1
点字タイプライター	0	0
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	0	0
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	0	0
視覚障がい者用拡大読書器	1	0
盲人用時計	0	0
盲人用体温計	0	0
盲人用体重計	0	0
点字ディスプレイ	0	0
聴覚障がい者用通信装置	1	0
聴覚障がい者用情報受信装置	2	0
人工喉頭	0	0
携帯用会話補助装置	2	0
情報・通信支援用具	0	0
点字図書	0	0
ストマ用具	25	0
紙おむつ	7	2
収尿器	0	0
居宅生活動作補助用具	0	0
合計	49	5

7 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種別	給付決定者数(件)
視覚障がい	0
聴覚・平衡機能障がい	0
音声・言語・そしゃく機能障がい	0
免疫機能障がい	1

肢 体 不 自 由	3
心 臓 機 能 障 が い	13
腎 臓 機 能 障 が い	67
合 計	84

8 各種手当の状況

種 別		給付決定者数(件)
特定疾患介護手当		18
重度心身障がい児扶養手当		5
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	2
	障がい児福祉手当	0
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当		2

9 障害者相談支援事業

栃木市社会福祉協議会に委託し、障害者の相談支援を行った。

支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	その他	計
件数(件)	151	40	16	119	6	9	127	468

10 身体障がい者等福祉関係

- ・身体障がい者の自立更生について、1人の相談員が相談指導に当たった。
- ・第6回栃木県障害者スポーツ大会が9月26日に栃木県総合運動公園陸上競技場を主会場として開催され、大平地域からは1人の選手が出場した。
- ・知的障がい者の自立更生について、1人の相談員が相談指導に当たった。
- ・障がい者と健常者の交流事業として、若葉OHIRAウオークラリーのつどいを実施した。参加者115人

介護高齢担当

1 高齢者人口

(毎年4月1日現在)

区分	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	総 人 口 (人)		29,228	29,246	29,506	29,551
65歳以上人口 (人)		5,134	5,334	5,571	5,844	6,002
総人口に対する割合 (%)		17.57	18.24	18.88	19.78	20.27

2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において、本市に引き続き1年以上在住の方を対象に敬老祝金等を贈呈した。

	区 分	支 給 額 (円)	対 象 人 数 (人)	備 考
敬老祝金	80歳(経過措置)	6,000	99	・99歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。 ・100歳の方については、市長が慶賀訪問した。
	85歳(経過措置)	7,000	76	
	85歳	10,000	158	
	88歳(経過措置)	8,000	53	
	90歳(経過措置)	10,000	24	
	90歳	20,000	72	
	95歳(経過措置)	12,000	7	
	95歳	30,000	26	
	99歳(経過措置)	15,000	4	
	100歳	100,000	6	
	101歳以上	50,000	7	
敬老祝品	祝金該当外の80歳以上	祝詞、ゆうゆうプラザ入浴利用券	1,442	

3 敬老行事自治会交付金事業

敬老会行事を実施した自治会に交付金を支給した。

・交付金 6,112,000円

75歳以上の人数 2,596人×2,000円

46自治会×20,000円

4 老人クラブ活動等社会活動促進事業

老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（大平地域） 28クラブ

・大平町老人クラブ連合会会員数 1,182人

・助成金額 単位老人クラブ助成 1,293,000円

大平町老人クラブ連合会助成 1,239,000円

5 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもとに、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長が図られた。

・事業実施者 自治会・自治会社会福祉協議会・老人クラブ等

・利用対象者 大平地域内に居住するおおむね60歳以上の者

・実施施設 地域の公民館・集会所・広場等

- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 21センター（24自治会）
- ・委託料 3,120,000円
 （内訳）運営費 120,000円×21センター＝2,520,000円
 初年度設備費 200,000円×3センター＝600,000円
- ・実施回数 延べ3,167回
- ・実施人数 延べ43,993人

6 配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食300円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認も行った。

- ・利用者数 79人
- ・配食個数 5,473個
- ・配食業者 栃木市沼和田町13-3 このひら配食サービス
 栃木市柳橋町6-29 （株）金時給食センター
 栃木市吹上町1401 （有）ききょう
 栃木市仲方町306-5 ワタミタクシヨク（株）

7 老人ホーム等入所措置支援

合併により、老人ホーム等入所措置については本庁一括となったが、入所前の支援については支所にて実施。

- ・養護老人ホーム入所措置支援 1件
- ・特別養護老人ホーム入所措置支援 1件

8 日常生活用具購入費等助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費等助成を行った。

	品目	件数（件）
購入費助成	福祉車	48
	小型暖房器具	13
	電磁調理器	0
	火災警報器	0
	自動消火器	0
レンタル料助成	電動小型吸引機	9
	特殊寝台	3
	じょく瘡予防用具	2

9 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

設置状況

既設置台数	22年度設置台数	22年度撤去台数	計
107台	18台	13台	112台

10 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。

区 分	交 付 者 数 (人)
高齢者 (80歳以上)	205
高齢者 (65～79歳)	51
障がい者	80
腎臓機能障がい者	42
合 計	378

11 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

- ・在宅ねたきり老人等人数 180人
- ・22年度支給額 4,095,000円

12 紙おむつ購入助成事業

日常生活において紙おむつを使用しているねたきり老人等に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

- ・紙おむつ購入費助成者数 165人
- ・22年度助成額 4,326,000円

13 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

事業名	利用者数(人)	延べ回数等
ホームヘルプ事業	1	1月
寝具等乾燥消毒サービス事業	0	0回
デイサービス事業	1	45回
軽度生活援助員派遣事業	5	住まい営繕等 10時間 除草・家事援助 12時間

在宅高齢者短期入所事業	2	6 日
-------------	---	-----

14 介護保険業務各種受理状況

支所においては、介護関係各種申請を受付実施した。

内 容	件 数 (件)
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	8 5 4
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	2 0
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	1 2
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	3
転入・転出・転居 資格管理等	0
転送希望届申請 受付・入力	1 9
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	2 4 2
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	5
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	2
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	1
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	4 8
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	4 1
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	6 0
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	1 1 1
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	0
オムツ使用証明申請 受付・発行	3
介護保険事業者事故報告 受付	4

15 認知症地域支援体制構築等推進事業

平成21年度、平成22年度の2か年間、県からモデル地域としての選定を受け、認知症への対応（予防、早期発見、ケア等）を行うマンパワーや拠点などをネットワーク化することで、認知症高齢者等と家族に対する有効な支援体制を先駆的に構築し、各地域にその成果を普及するために実施した。

事業を契機として、認知症高齢者等と家族に対する地域における支援体制整備の推進が図られた。

平成22年度の実施状況

- ・ 事業費（県費） 2,339,705 円
- ・ 事業内容
 - 地域資源マップの作成
 - 徘徊SOSネットワークの構築
 - 認知症高齢者を抱える家族の支援
 - 認知症サポーターの養成

16 傾聴事業

高齢者の閉じこもりやうつ症状の予防のために、高齢者の自宅や介護施設を訪問し傾

聴活動を行う傾聴ボランティア団体の支援を行った。

- ・傾聴ボランティア団体数 1 団体
- ・補助金額 200,000 円

17 地域包括支援センター事業

栃木市社会福祉協議会に業務委託

(1) 地域包括支援センター設置状況

大平地域包括支援センター 栃木市大平町西野田 6 6 6 - 1
大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業における対象者把握事業（介護高齢担当実施）

65 歳以上の高齢者に対する生活機能評価の結果に基づき、生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業の対象者を把握した。

基本チェックリスト（65 歳以上の高齢者に個人通知し回答を得る）

回答者数	4, 820 人
------	----------

基本チェックリストの結果生活機能評価対象となった方

生活機能評価対象者	1, 713 人
-----------	----------

二次予防事業対象者の状況

	人数（人）	生活機能評価実施数
集団検診	240	274
個別検診	74	119
合計	314	393

(イ) 通所型介護予防事業

65 歳以上の高齢者に対する生活機能評価の結果に基づき、生活機能に低下があり、介護予防の利用が望ましいと判断された二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、口腔機能向上、栄養機能向上を合わせた総合型の介護予防教室を、前期・後期の 2 期実施した。

後期は、対象者の送迎をシルバー人材に委託したことで参加者の大幅な増加が見込まれた結果となった。なお、教室の運営にあたっては元気アップサポーター 10 人の協力を得た。

	前期（平成 22 年 6 月 7 日 ～平成 22 年 8 月 11 日）		後期（平成 22 年 11 月 1 日 ～平成 23 年 1 月 24 日）	
	回数	延人数	回数	延人数
運動器機能向上	8	81	8	239
口腔機能向上	3	25	3	90
栄養機能向上	3	25	3	90
合計	14	131	14	419

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

a 介護予防教室「はつらつ体操」

65歳以上の高齢者を対象に、地区公民館単位に15会場で介護予防教室「はつらつ体操」を開催した。内容は、運動器機能向上、口腔機能向上、栄養機能向上を含めた総合型とした。

	15会場（月1回）	
	回数（回）	延べ人数（人）
運動器機能向上	145	2,000
口腔機能向上	11	160
栄養機能向上	11	209
合計	167	2,369

b 介護予防教室「はつらつ体操」野外研修

一次予防事業対象者ではつらつ体操に参加されている方を対象に、野外研修を実施した。

- ・開催日 平成22年12月2日（木）、12月6日（月）、12月9日（木）
- ・場所 日光・鬼怒川方面
- ・参加者数 205名

c 高齢者に関する便利帳の発行

関係機関との連携のもと、医療情報、介護保険情報を中心とした地域資源の情報を集めた冊子を作成し配布した。

対象	部数（部）
市民向け	48
専門職向け	22
合計	70

d ふれあい健康福祉まつりへの参加

介護予防を目的に、ふれあい健康福祉まつりの中で「元気になるウォーキング」と「住環境整備と福祉用具の展示」を行った。

開催にあたっては、フクシ・エンタープライズ、廣田商事、パナソニックエイジフリー介護チェーンの協力を得た。

- ・開催日 平成22年5月30日（日）
- ・参加者 100人

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a 介護予防サポーター養成研修

介護予防教室の開催を支援する「元気アップサポーター」第1期生、第2期生を対象に、現任研修を実施した。内容は、情報交換と運動指導士による実技指導を行った。

- ・開催日 平成22年9月6日（月）
- ・参加者 37人

さらに、先進地区への視察を目的に、視察研修を実施した。

- ・開催日 平成23年3月4日（金）
- ・参加者 23人
- ・研修先 東京都江東区スポーツ会館

b 民生委員との地区別懇談会

大平地域の4地区（中央地区、西地区、南地区、東地区）の民生委員と懇談会を行い、括支援センターの事業報告と情報交換を行った。

- ・開催日 中央地区：平成22年6月 8日（火）
- 西地区：平成22年6月23日（水）
- 南地区：平成22年6月28日（月）
- 東地区：平成22年6月30日（水）

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント業務

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活を送ることができるように、その人の生活全体を包括的・継続的に支援した。

要支援者の介護予防サービス・支援計画書の作成状況

	件数（件）
地域包括支援センター作成件数	57
指定居宅介護支援事業者委託件数	66
合計	123

サービス担当者会議実施状況

	回数（回）
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	48

住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

	件数（件）
地域包括支援センター作成件数	3

イ 総合相談支援業務

地域の高齢者とその家族及び関係機関からの相談に応じ、住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援を行った。

(ア) 相談件数

	件数（件）
来所	393
訪問	222
電話	688
その他	23
合計	1,326

(イ) 緊急通報装置システムに関すること

実施状況

	件数（件）
設置	19
撤去	13
相談及び緊急対応	21
合計	53

ウ 権利擁護業務

高齢者の権利を守るため、市担当部局と連携し、専門的・継続的な支援を行った。

実施状況

	件数（件）
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	85
高齢者虐待に関すること	36
合計	121

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネジャーへの支援と連携を図ることを目的に、大平地域内の居宅介護支援事業者との連絡会を、年2回開催した。

(4) 任意事業

地域自立支援事業（24時間通報体制）

地域包括支援センター業務に関する通報等に随時対応するため24時間体制で職員による電話受付（携帯電話へ転送）を行った。

(5) 認知症地域体制構築等推進事業

介護高齢担当、各関係機関との連携のもと実施。

ア 定例会

- ・実施日 月1回
- ・構成メンバー コーディネーター、栃木県、介護支援専門員、キャラバン・メイト代表、栃木市社会福祉協議会、大平総合支所健康福祉課介護高齢担当、大平地域包括支援センター
- ・述べ参加者 168人

イ 講演会

- ・開催日 平成22年12月19日（日）
- ・内容 講演「認知症の方が安心して暮らすためのホットな地域づくり」
講師 認知症コーディネーター 葭田 美知子氏
- ・参加者 85人

ウ 視察

- ・実施日 平成22年5月27日（木）
- ・場所 真岡市役所
- ・参加者 10人

健康増進担当

1 予防接種事業【数値は本庁健康増進課で一括計上】

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種 ポリオ投与（小児マヒ）

- ・年間実施回数 8回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

イ 個別接種 BCG、三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）日本脳炎、季節性インフルエンザ

(2) 任意予防接種

ア 子宮頸がん予防ワクチン接種については、2回目まで各中学校において集団接種を実施した。

イ 小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザを各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

- ・実施回数 15回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	61	42	69
動機付け支援	135	112	83
合計	196	154	79

3 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診（個別健診）等を行った。

- ・集団健診実施回数 14回
- ・集団健診実施会場 大平健康福祉センター

4 結核検診

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を下

ア 両親(母親)教室

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

- ・実施数 4回1コース(年2コース)
- ・参加者 妊婦実数 47人(延べ 119人)
- 夫 25人 祖父母 0人
- 先輩ママ 8人 先輩パパ 2人

イ 子育て教室(すくすく教室)

3～5か月児とその養育者を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。内容は、離乳食教室、子育てアドバイス等。

- ・実施回数 5回 参加者延べ数 107組

ウ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後) 参加者延べ数 273組

(5) 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいとの相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	288	285	99	17	16	6	4
乳児健康診査 (9か月児)	12	276	273	99	26	18	1	7
1歳6か月児 健康診査	11	231	227	98	32	10	4	12
3歳児 健康診査	11	285	275	96	66	12	1	22

(6) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 1件
- ・指導延べ数 1件

(7) こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数 274件

(8) 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に受診券の交付を行った。

(9) 子育て相談（子育てサロン等）

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。

・実施回数 12回

・参加者延べ数 365組

(10) 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

対象数	受診数（受診率）
305人	232人（76%）

(11) 5歳児発達相談

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園・保育園及び大平健康福祉センターにおいて発達相談を実施した。

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
299人	204人	28人	9人	6人	47人	5人

(12) 健診事後教室（ぺんぎん教室・ちゃいちゃいくらぶ）

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

【大平、藤岡地域と合同開催：大平会場で開催】

	対象月齢	回数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいくらぶ	3歳未満児	11	52
ぺんぎん教室	3歳～就学前	9	38

(13) 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。

【大平、藤岡地域と合同実施し大平会場で開催】

開催回数	受診児数			結果内訳		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
6回	17人	14人	31人	12人	17人	2人

(14) 思春期講演会

性を正しく理解し自分自身と向き合うことができ自己決定能力を高めていくための思春期講演会を大平町内中学校(2校)と連携し行った。

- ・実施回数 1回
- ・実施会場 大平文化会館

対 象	参加人数(人)
大平中学校	生徒 218 保護者等 49
大平南中学校	生徒 301 保護者等 49
一般参加	8

(15) 母子保健推進員活動

母子保健推進員を委嘱し、母子保健の向上のため妊婦及び乳幼児等の家庭訪問や健診の場で相談活動を行った。(推進員数14人)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	240件	262件	361件	863件

(16) フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図り、口腔衛生思想を高めるため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 228人(小学1年生 119人 年長児 109人)

8 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
糖尿病予防教室	8	196	糖尿病予備軍の人に対して、食事・運動指導を実施。自己血糖値測定を行い、空腹時、食後1時間、食後2時間値の経時的変化を体感したり、食事バイキングで適量を選ぶなどの体験型学習を実施した。
筋力アップですっきり教室	23	301	メタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。

食の学習	7	70	メタボや血糖値がやや高めの人に対して、昼食を持参し、空腹時・食後1時間・食後2時間の自己血糖値を測定した。食事と血糖値の連動性を体感するとともに、自分に合った食事の目安量や食べ方のコツなどを学習し、生活スタイルの見直しを行った。
健診結果相談会	11	14	健診の結果の疑問点や不安の相談、医療機関受診の方法など
リフレッシュ運動教室OB会 (自主グループ活動)	30	1,350	運動教室等修了者の自主グループ活動
その他	8	733	出前講座(生活習慣病予防等) 健康ウォーキング ポスター・料理コンクール 禁煙教室(小学6年生と保護者)

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

実施回数	延べ相談者数	内 容
8回	18人	保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

実施回数	述べ相談者数	内 容
12回	24人	管理栄養士による個別指導

・指導内訳 高血圧症3、糖尿病8、脂質異常症7、やせ1、その他5

(4) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に 食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。(大平支部 31人)

- ・各講習会 5回
- ・参加人数 157人

また、新規事業として、大平の特産品「ニラ、トマト、ブドウ、イチゴ」を材料に用いたお弁当を作り、併せて大平版子ども料理コンクールを実施した。

- ・実施日 平成22年9月4日(土)
- ・参加者 5組(10人)

9 自殺予防対策事業

(1) 心の健康講座の開催

「コミュニケーション力の高め方&自分のストレスに気づきリラックスする方法を学ぼう」をテーマに心の健康を高めるための健康講座を開催した。

- ・回数 1回
- ・参加者数 23人

(2) こころの健康相談

悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の相談に応じた。

- ・回数 8回
- ・相談者数 21人

10 おおひら健康21プラン推進事業

「情報」「食生活」「運動」「こころ」「たばこ・アルコール」「健康診査」の6項目を重点領域とし、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取り組み

- ・健康づくりポスターコンクールの開催
- ・各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
- ・運動の大切さの知識普及と意識の向上を図るための運動教室の開催
- ・健康ウォーキングの開催
- ・こころの健康教室の開催
- ・絵本読み聞かせ事業の推進
- ・学校との連携のもと禁煙教室の開催
- ・歯の健康に関する普及啓発（健康まつりなど）

11 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・保健師訪問指導(延べ人数) 196人
- ・訪問世帯数 164世帯
- ・内訳

〔	・精神保健	26人	・生活習慣病	10人	・妊産婦	12人
	・新生児	6人	・乳児	41人	・幼児	12人
	・低体重	5人	・心身障がい	30人	・その他	54人

〕